

10月8日(金)⇒11日(月)

共進会が安平町で開催

第13回全日本ホルスタイン共進会が北海道で初めて開催されます。その記念すべき大会が安平町において今年10月8日から4日間の日程で実施。町では実行委員会を組織し、関係団体などと協力しながら成功に向けて準備を進めています。今月号は全日本ホルスタイン共進会について紹介します。

共進会の目的

今年で13回目を迎える共進会ですが、北海道での開催に向け主催する社団法人日本ホルスタイン登録協会では平成19年6月に規則を制定し、厳格な審査基準とスムーズな運用方法について明記。

それによると、わが国のホルスタイン種及びジャージ種の牛を一堂に集め、その水準を広く示し、改良増殖を推進し、あわせて堅実な酪農業の進展を目的に掲げています。すなわち、乳牛改良の将来指針を得るために全国の代表牛の資質の比較検討を行うものです。

共進会の始まり

乳牛改良のオリンピックともいべき全日本ホルスタイン共進会は、昭和26年3月に

神奈川県平塚市で第1回大会が開催され、昭和天皇の御臨席を賜り、30県157頭の出品があり、約10万人が来場しました。

その後、静岡県、長野県など5年に一度酪農の盛んな県で行われており、発足後60年目を迎え、北海道大会が早来新菜にある北海道ホルスタイン共進会場で10月8日から11日までの4日間行われ、各都道府県の代表牛と生産者のほか、多くの方が集まります。

開催地として

ホルスタインの祭典「第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」の会場となる北海道ホルスタイン共進会場は広さ9・7ヘクタールあり、「北海道ホクレン家畜市場」と「ホクレン南北海道家畜市場」の共有施設が昨年11月に新設され、道内はもとより、



全国共進会のロゴマークの一つ

日本一の規模を誇る家畜市場となっており、牛の係留場所も充実しています。さらに新千歳空港から車で20分と近いことも開催地としての最適な条件に恵まれていると言えます。

町では、昨年国道234号沿いと役場両庁舎の玄関前に歓迎PR看板を設置し、町のホームページではPRサイトを設けるなど住民周知を図ってきました。

大会の効果

前回の栃木大会では、大会関係者のみで7千から8千人規模の規模でした。

全国から多くの人が集まる共進会の北海道大会では道産食材による飲食店舗や地元農畜産物の即売会も開かれます。安平町にとっても町の豊かな自然、歴史や文化、産業などを

ホルスタイン種とは

ホルスタイン種とは、家畜牛の品種名でオランダのフリースラント地方およびドイツのホルシュタイン地方の原産の乳牛です。正式にはホルスタイン・フリーシアンという名称で1889年に統一され、日本では省略してホルスタイン種と呼ばれるようになりました。

乳用として明治時代から日本に輸入されているホルスタイン種は毛色は白と黒の斑で乳量が多く、わが国で最も多く飼育されています。

「乳用牛の女王」と呼ばれるホルスタイン種は全世界で広く飼育されていますが、地域によって体型が多少異なります。アメリカ型は四肢が長く、体高が高く、体型が角張った乳専用タイプ。ヨーロッパ大陸型は後軀の肉付きがよい体系です。乳用種ではありませんが、これらの中間のコンパクトで四肢が短いイギリス型はブリティッシュ・フリーシアン種と呼ばれています。

アメリカやカナダでは乳